

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日  
東

上場会社名 株式会社京三製作所 上場取引所  
 コード番号 6742 URL <https://www.kyosan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 戸子台 努  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 伸之 (TEL) 045-503-8106  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,327	△6.0	△2,282	—	△2,118	—	△1,615	—
2019年3月期第2四半期	23,759	14.8	△1,365	—	△1,131	—	△937	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,821百万円( —%) 2019年3月期第2四半期 213百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△25.75	—
2019年3月期第2四半期	△14.95	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	97,528	43,838	44.9
2019年3月期	102,856	46,286	45.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 43,838百万円 2019年3月期 46,286百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
2020年3月期	—	5.00			
2020年3月期(予想)			—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	8.2	4,000	23.9	4,300	24.0	2,400	4.1	38.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社 ( — )、除外 — 社 (社名) ( — )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	62,844,251株	2019年3月期	62,844,251株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	126,474株	2019年3月期	126,464株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	62,717,783株	2019年3月期2Q	62,717,874株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境等の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続いたものの、各国の通商・経済動向等の影響から不安定かつ不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは創業第二世紀の持続的な成長に向け、新たなビジョンの下でスタートした3ヵ年の中期経営計画の2年度目となり、全社戦略、事業戦略を推進しております。

受注につきましては、信号システム事業は前年同期に比べて大型案件が少なく、パワーエレクトロニクス事業はフラットパネルディスプレイ（FPD）市場の設備投資抑制の影響を受けたことから、前年同期を下回りました。売上につきましては、信号システム事業は堅調に推移したものの、パワーエレクトロニクス事業は半導体およびFPD製造装置向けの産業機器用電源装置の受注減少の影響を受けたことから、全体としては前年同期を下回りました。

利益面につきましては、売上の減少により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高39,366百万円（対前年同期比1,898百万円減）、売上高22,327百万円（対前年同期比1,431百万円減）、営業利益△2,282百万円（対前年同期比916百万円減）、経常利益△2,118百万円（対前年同期比987百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益△1,615百万円（対前年同期比677百万円減）となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

## 〔信号システム事業〕

鉄道信号システムでは、受注はJR・民鉄各社および公営鉄道向けATC装置・ホームドア、中国向け電子連動装置用品、インド国鉄電子連動装置などがありましたが、前年同期を下回りました。売上はJR東海東海道新幹線信号設備、横浜高速鉄道みなとみらい線ホームドア、中国向け電子連動装置用品、インド国鉄電子連動装置などがあり、前年同期を上回りました。

道路交通システムでは、交通信号制御機や交通信号灯器、独自製品の防水型交通信号制御機などの拡販や、海外における高度交通信号システム実証事業の継続によって、受注、売上ともに前年同期を上回りました。

この結果、当事業では受注高31,791百万円（対前年同期比1,443百万円減）、売上高16,068百万円（対前年同期比1,003百万円増）となりました。なお、セグメント利益は△213百万円（対前年同期比584百万円増）となりました。

## 〔パワーエレクトロニクス事業〕

受注につきましては、通信設備用電源装置は鉄道事業者向けを中心に好調に推移したものの、産業機器用電源装置はFPD市場の調整局面継続の影響により、前年同期を下回りました。売上につきましては、通信設備用電源装置は前期からの好調な受注を背景に前年同期を上回ったものの、産業機器用電源装置は、半導体・FPD製造装置への設備投資が抑制されたことにより、前年同期を下回りました。

この結果、当事業では受注高7,575百万円（対前年同期比455百万円減）、売上高6,258百万円（対前年同期比2,435百万円減）となりました。なお、セグメント利益は470百万円（対前年同期比1,371百万円減）となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,616	5,921
受取手形及び売掛金	32,627	16,293
製品	2,960	2,966
半製品	5,084	5,634
仕掛品	20,519	29,531
原材料及び貯蔵品	330	399
その他	1,072	1,722
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	68,201	62,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,426	9,118
その他（純額）	4,632	4,886
有形固定資産合計	14,059	14,005
無形固定資産		
無形固定資産	1,421	1,355
投資その他の資産		
投資有価証券	17,311	17,086
繰延税金資産	97	854
退職給付に係る資産	466	455
その他	1,319	1,333
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	19,173	19,709
固定資産合計	34,655	35,070
資産合計	102,856	97,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,651	10,389
電子記録債務	4,518	4,470
短期借入金	15,000	8,000
1年内返済予定の長期借入金	1,429	5,429
未払法人税等	1,090	296
役員賞与引当金	111	40
受注損失引当金	464	411
環境対策引当金	100	—
その他	6,748	7,079
流動負債合計	41,114	36,115
固定負債		
長期借入金	11,427	13,712
退職給付に係る負債	3,351	3,482
資産除去債務	138	139
繰延税金負債	158	3
その他	378	236
固定負債合計	15,455	17,574
負債合計	56,569	53,690
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	28,542	26,299
自己株式	△44	△44
株主資本合計	39,393	37,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,156	7,001
為替換算調整勘定	△145	△223
退職給付に係る調整累計額	△117	△90
その他の包括利益累計額合計	6,893	6,687
純資産合計	46,286	43,838
負債純資産合計	102,856	97,528

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	23,759	22,327
売上原価	19,245	18,684
売上総利益	4,514	3,643
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,319	1,435
賞与	513	438
役員賞与引当金繰入額	52	40
退職給付費用	160	128
減価償却費	199	216
荷造及び発送費	551	548
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	3,081	3,116
販売費及び一般管理費合計	5,879	5,925
営業損失(△)	△1,365	△2,282
営業外収益		
受取配当金	132	142
受取保険金	126	164
持分法による投資利益	—	14
為替差益	90	—
その他	56	59
営業外収益合計	406	381
営業外費用		
支払利息	60	71
資金調達費用	89	61
持分法による投資損失	10	—
為替差損	—	65
その他	12	20
営業外費用合計	173	218
経常損失(△)	△1,131	△2,118
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	33	11
特別損失合計	33	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,163	△2,129
法人税等	△225	△514
四半期純損失(△)	△937	△1,615
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△937	△1,615

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△937	△1,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,163	△154
為替換算調整勘定	△18	△60
退職給付に係る調整額	18	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△17
その他の包括利益合計	1,151	△206
四半期包括利益	213	△1,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213	△1,821
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,163	△2,129
減価償却費	897	954
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	77	166
持分法による投資損益(△は益)	10	△14
受取利息及び受取配当金	△147	△159
支払利息	60	71
売上債権の増減額(△は増加)	17,766	16,287
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,782	△9,651
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,066	△1,270
その他	△1,836	△642
小計	2,816	3,610
利息及び配当金の受取額	150	162
利息の支払額	△64	△72
法人税等の支払額	△2,166	△1,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	735	2,526
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△486	△549
投資有価証券の取得による支出	△14	△14
関連会社株式の取得による支出	△67	—
有形固定資産の取得による支出	△1,013	△607
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△132	△166
その他	△56	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,770	△1,371
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△73	△7,000
長期借入れによる収入	5,000	7,000
長期借入金の返済による支出	△4,164	△714
配当金の支払額	△501	△627
その他	△22	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	238	△1,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△801	△234
現金及び現金同等物の期首残高	4,135	5,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,333	5,382

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	パワーエレクト ロニクス事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	15,065	8,694	23,759	—	23,759
セグメント間の内部 売上高または振替高	3	266	270	△270	—
計	15,069	8,960	24,029	△270	23,759
セグメント利益 または損失(△)	△797	1,842	1,045	△2,410	△1,365

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,410百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	8,045	62	8,108
II 連結売上高(百万円)	—	—	23,759
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	33.8%	0.3%	34.1%

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・中国、台湾、韓国等

(2) その他・・・・・・アメリカ等

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	パワーエレクト ロニクス事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	16,068	6,258	22,327	—	22,327
セグメント間の内部 売上高または振替高	1	88	89	△89	—
計	16,070	6,347	22,417	△89	22,327
セグメント利益 または損失(△)	△213	470	257	△2,539	△2,282

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,539百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

## 【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	6,889	48	6,938
II 連結売上高(百万円)	—	—	22,327
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	30.9%	0.2%	31.1%

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・インド、中国、台湾、韓国等

(2) その他・・・・・・アメリカ等

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。